

2024年6月 発行 第31巻

運動学習研究会報告集

第31回
運動学習研究会 編

Annual Report of the Japanese Motor Learning Seminar
Vol. 31(Jul. 2023)

JMLS

目次

直線狭路における自転車走行中の身体動作と視線行動の関係 小嶋 岳 (筑波大学大学院)	1
自然歩道でのストック歩行歩容の変化 越水 悠介 (山梨大学大学院)	4
サッカーのプレー時における創造性と関連する要因・思考について 長 雄希 (筑波大学大学院)	7
サッカー場に働くボール引力とゴール引力の相互作用により生じるゲーム均衡の破れ 有賀 湧史 (山梨大学大学院)	13
攻撃パターンのトレーニングがサッカーのゲームでのプレーに与える影響 小野 隼佑 (筑波大学大学院)	16
Bumper-ball ゲームから紐解く「駆け引き」のメカニズム 山地 聡史 (東北大学大学院)・福原 洸 (東北大学)・小林亮 (広島大学)・ 山本裕二 (新潟医療福祉大学)・石黒章夫 (東北大学)・加納剛史 (東北大学)	19
サッカー選手の意思決定と内受容感覚—学習過程と皮膚コンダクタンス反応に着目して— 横田 陽生 (筑波大学大学院)	25
タイミング行動におけるベイズ推定 奥村 侑也 (静岡大学情報学部情報科学科)	29
クリックトレインを利用した皮膚ウサギ錯覚のベイズ推定モデルの検証 朝日 南々香 (静岡大学総合科学技術研究科)	31
自律的エージェントの競争的かつ協調的な集団行動の獲得過程 筒井 和詩 (名古屋大学)	34
リスク下での運動意思決定における最適な計算と非最適な行動 女川 亮司 (早稲田大学)	38
競争下での模倣と意思決定—叩いて被ってじゃんけんぼん実験— 田中 美吏 (武庫川女子大学)	42
ヒトバイオロジカルモーションにおける勢い評価 山本 真史 (日本福祉大学)・荒木 雅信 (日本福祉大学, 大阪体育大学)	45

ゴルフパッティング学習への開放系要素の導入の試み

長谷川 弓子 (岩手大学)

47

スポーツにおける視覚探索方略・行動：システムティック・レビュー

平川 武仁・下川 真良 (大阪体育大学)

53

仮想現実空間における身体接触リスクの欠如が協応秩序の厳密性に与える効果

木島 章文 (山梨大学)

61

ブランコ漕ぎの位相シフトに関わる要因

平田 智秋・北原 俊一 (十文字学園女子大学)

64

サッカーの指導現場での運動学習理論の援用の可能性を考える

中山 雅雄 (筑波大学)

69

スポーツ心理学の独自性 失敗できないときのフィッツの法則

山田 憲政 (中京大学)

71

予測不能な他者をいかに制御するか?

山本 裕二 (新潟医療福祉大学)

76